

## 令和5年度第1回関市環境審議会 会議録

◆日 時：令和6年3月21日（木）14:00～15:30

◆場 所：関市役所 6階 大会議室

◆出席者及び欠席者 《敬称略》

(1) 出席者：田中 耕、平田和雄、津田 格、井上好章、宮部英門、坂井一弘、  
多田幸泰、酒井明彦、早川貞子、中嶋 亘、野田哲貴、加納由香里

(2) 欠席者：清水道隆、水野友有、船戸智文、裁裕子

(3) 事務局：津谷典男（市民環境部長）、後藤英矢（環境課長）、  
西部祐司、河村茂範

(4) 傍聴者：なし

---

### 1. 開会

#### 【事務局】

本日はご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、これより関市環境審議会を始めさせていただきます。

はじめに、関市民憲章のご唱和をお願いいたします。恐れ入りますが、ご起立をお願いいたします。なお、関市民憲章はお手元に配布してございます次第の裏面でございますのでご覧ください。私が「関市民憲章」と申し上げましたら、続いてご唱和をお願いいたします。

<関市民憲章 唱和>

ありがとうございました。ご着席ください。

それでは、津谷市民環境部長からご挨拶を申し上げます。

### 2. 部長あいさつ

<津谷市民環境部長 挨拶>

次第の3番の前に本会議の審査について確認させていただきます。当審議会は16名の委員数でございます。「関市環境審議会規則」第3条第1項の規定には、委員の半数以上の出席をもって成立するとありますから、本日の出席委員は11名でございますので、本日の会議が成立したことをご報告させていただきます。

次に、委員の皆様と事務局のご紹介をさせていただきます。

<各委員・事務局の紹介>

多田幸泰委員は遅れての出席となります。

**【事務局】**

本審議会の議長は、慣例により会長が行うこととなっておりますことから、これより会議の進行を会長にお願いしたいと思います。会長、よろしく願いいたします。

**【田中会長】**

それでは、司会を務めさせていただきます。議事の進行につきご協力をお願いします。さっそく会議に入りますが、次第によりまして事務局から報告事項3、1) 環境審議会の位置づけについてと、2) 第二期関市環境基本計画の進捗状況について、事務局から報告をお願いします。

3. 報告事項

- 1) 環境審議会の概要（位置づけ）について
- 2) 第二期関市環境基本計画の令和5年度進捗状況について

<事務局が資料に基づき説明>

- 資料**
- ・令和5年度【基本的施策】進捗状況
  - ・令和5年度【重点施策】進捗状況

**【田中会長】**

事務局からの説明が終了しました。ご意見、ご質問等がございましたら挙手のうえ、お願いいたします。

**【野田委員】**

【基本的施策】の進捗状況「I 脱炭素を目指すまち」の「2 再生可能エネルギー活用の推進」について、主な取組実績「先進事例の調査」とはどんな事例を調査したのでしょうか。

**【事務局】**

他市町村の方で再生可能エネルギーの普及で進んでいる事例を調査、見学させていただきました。調査先は神奈川県厚木市になります。

**【野田委員】**

先進とは具体的にどのようなことでしょうか。

**【事務局】**

厚木市は市民への補助メニューが進んでいます。本市でも来年度、実施予定の省エネ家

電への補助などの参考としております。また、企業と連携した再生可能エネルギーの活用が進んでいますので、本市でも参考としたいと思っております。

**【井上委員】**

4ページの「IV安心して暮らせる快適なまち」の2の主な取組実績について、市内小学校の史跡見学、市民向け史跡見学ツアーの実施とはどのような方法で行われたのでしょうか。

**【事務局】**

文化課が行っておりますので詳細は不明ですが、学校の授業であるとか市民向けに説明し実施していると思います。

**【中嶋委員】**

小瀬鶴飼の継承発展など取組がありますので、環境課、文化課だけでなく観光課も交えるなど、盛り上げが必要かと感じます。各課だけでやるのではなく複数の課で連動して事業を実施された方が市民へPRできますし、関市には素晴らしい城跡、史跡がありますので活かしてほしいと考えます。活かすということは、環境整備にもつながります。富野にも素晴らしい城跡があり、携わっていると意識も高まり、どんどん環境整備が進んでいます。市民に対して意識付けをすることが大事だと思います。

**【事務局】**

ありがとうございます。他の課にも提案しながら進めていきたいと思っております。

**【井上委員】**

1ページ「4吸収源対策の推進」としては植林のことかと思いますが、公園の緑地化も進めているのでしょうか。公園には遊具が整備されていますが、夏になると日差しが強く、熱中症になってしまいます。4ページの「1緑あふれるまちづくり」に関係するかもしれませんが、公園に樹木を整備することも進めていただきたいと思っております。

2ページの「貴重な野生生物の保護」の2番目に「セアカゴケグモの駆除」は大事ではありますが、このことが直接的に野生生物の保護につながるのではなく、ウシモツゴの保護などが適切かと思っております。特にブラックバスやコクチバスの駆除を行って、絶滅危惧種の保護を進めてほしいと思っております。

オオキンケイギクの駆除は素晴らしい活動です。カワラナデシコ、カワラケツメイなどの貴重な種を保護してほしいと思っております。

黒屋地区の農地に田んぼダムの設置についても、どんどんほかの地区にも拡大し進めてほしいです。ゲリラ豪雨などの対応にもなりますし、また田んぼには貴重な生き物がたくさん残っていますので、多くのことに関わってきますので、ぜひ進めてほしいです。

5ページ、プロギングについて、若い人たちがジョギングしながらごみ拾いを実施して素晴らしいことだと思いますので、広げてほしいと思っております。

**【事務局】**

貴重種の保護について、外来種ブラックバスやブルーギルが関市にも生息しています。

自然にウシモツゴが生息している「ため池」がありますが、そこにブルーギルがいるとの情報があり、今年、急いで池の水を抜いて駆除を行いました。

また、3月24日には黒屋地区のウシモツゴが生息する「ため池」でも生息数が減っているようですので、池の水を抜いて調査を進める予定です。

プロギングは企業や学校などと協力しながら今後も進めていきたいと思ひます。

**【平田委員】**

関市では何が重要視されているでしょうか。植物、生物、水生生物などありますが、指針になるようなものについて、県の資料なのか関市独自に大切なものを定めているのでしょうか。

**【事務局】**

指針になるような生物を定めた正確な資料というものはありませんが、来年度事業の中で、生物調査について市民を巻き込んで実施する予定です。現在、年に1回、市民と一緒に文化会館の傍の関川の生き物調査を実施していますが、来年度はこれを拡大し、岐阜大学などにも協力していただきながら、関市に生息する生き物調査を実施する予定です。

**【中嶋委員】**

不法投棄の看板が古くなり、痛んできていますので取り替えの時期かと思ひます。また文言も新しい方がいいかと思ひます。なお看板設置場所も雑草が繁茂し荒れていることがありますかどうか。

**【事務局】**

先日、看板にいたずらされていることがありました。看板が古くなっていることもありますので古いものは撤去など対応しています。自治会など地域で申請していただければ看板を貸し出すことができます。

場所の整備については、所有者による管理が基本となります。官地であれば教えていただければありがたいところです。

**【津田委員】**

希少生物につきまして、もう少しいろいろな取り組みができるのではないかと思ひます。田んぼダムを進める中で、水田魚道の設置によって魚が田んぼに上がってきて繁殖も期待できます。滋賀県で行っている魚のゆりかご水田なども含めて検討いただければと思ひます。

市平賀地域に良い田んぼがありましたが、開発によって消えてもったいないかと思ひま

す。できるだけ生き物が住みやすい環境を整備してもらえるといいと思います。

残してもらえる取り組みが大事だと思います。

セアカゴケグモは引っかかっていました。オオキンケイギクの関連で津保川の沿いでアレチウリが繁殖しているので、検討してもらえるといいと思います

山の整備では担い手を増やすことが大事です。学校でも林業の後継者を育成していますので、若手の育成に関する補助などを検討していただければと思います。

**【事務局】**

植物系の外来生物駆除は、処分など団体のお手伝いをさせていただいていますので、さらに活動を広めていくことも検討します。

セアカゴケグモは市有地で発生していますので、今年度も来年度も駆除を進めています。

**【津田委員】**

セアカゴケグモの駆除は進めていただくことは大事です。生態系の保全の項目にはそぐわないと思いましたので検討をお願いします。

**【事務局】**

参考とさせていただきます。

**【田中会長】**

重点施策の方で間伐面積が目標を大きく上回っているようですが、原因はありますか。またこれからも継続されるような見通しがあるのでしょうか。

**【事務局】**

自然保護を目的とした間伐と普通の間伐を合計した面積になります。来年以降もこのような面積になるかと思えます。

**【田中会長】**

当初の計画目標にこだわらず進めてほしいと思います。

**【津田委員】**

2ページの自然と共有するまちの鳥獣害の対応という項目があります。岐阜県は西濃地域を中心にシカが増えているようです。美濃の周辺にもいるようですが、これから関市でも調査を実施することや事前になにか対策を検討しているのでしょうか。

**【事務局】**

森林被害は環境課では把握していませんが、実感としてシカは増えていると感じています。交通事故に遭うシカが増えていますので、食べ物の不足や数が増えて山を下りてくる

個体が多くなっていると思います。

**【中嶋委員】**

富野地域でもシカを見かけます。夜、青パトをしていると、シカやニホンカモシカをよく見ます。熊も最近みえます。どこから来るかわかりませんが、集落にたくさんいるようです。

**【事務局】**

シカがヒルを連れてくるとのことで、板取の方ではヤマビルが増えているようです。

**【津田委員】**

シカがヒルを運ぶという研究結果はあります。ヒルが定着するかの関係性は不明ですが、このあたりは定着する可能性が高いエリアだと思います。人への被害もありますので早めの対応が必要だと思います

**【田中会長】**

他にご意見もないようですので1)、2)について終了いたします。

続きまして、3)の令和5年度版関市の環境について事務局の説明をお願いします

**【事務局】**

<事務局が資料に基づき説明>

**【田中会長】**

事務局からの説明が終了しました。ご意見、ご質問等がございましたら挙手のうえ、お願いいたします。

**【早川委員】**

29ページについて、河川の水質検査結果について、武儀川はpHが少し高いようですが原因がありますか。また全体的に大腸菌群数がとても多くて驚きました。

また、我が家は農業を行っていますが、ここ2・3年、鳥がたくさん来るようになりました。できるだけ農薬を使わないようにして、昔のように、シロサギ、アオサギが増えていきます。その反面、知らない雑草が増えましたし、赤い貝が用水を伝って増えているようです。この貝を駆除しないと苗を食べてしまいますので知っておいてほしいです。

**【事務局】**

武儀川は武芸川事務所の近くの橋で測定しています。製紙工場が多いことや水量が関係するかと思います。工場も基準を守って排出され、数字も基準値には入っています。大腸菌群数は大腸菌やほかの菌もすべて含めますので生活域や下流で調査するほど数値は高く

なる傾向にあります。心配することはないと思っています。

委員の指摘する貝はおそらくジャンボタニシであると思います。苗を食べる被害、ピンク色の卵も有毒だということで全国的にも問題になっています。関市の学校の生徒が貝を開発したようなこともありました。簡単に駆除は難しいですが対策を進めてまいります。

#### 【井上委員】

用語について、19ページに記載のあるギフチョウの部分で「カンアオイ」とあるのは「ヒメカンアオイ」ですので修正をお願いします。

P F A S（ピーファス）が各務原市で問題になりましたが、今後、25ページの水質汚濁の項目に入れていくべきだと思います。環境省から通達があると思いますが、数値について見守る必要があると思います。

35ページの地下水汚染対策の中で六価クロムに関して、文中の「汚染範囲を判明し汚染原因が推測されました」では対策が不明瞭です。また六価クロムの数値が高く、そのための対策がよくわからないので具体的に教えていただきたいです。

#### 【事務局】

ヒメカンアオイの指摘は修正いたします。

P F A Sについては水源地で測定しています。数値は基準値以内となっています。

六価クロムは刃物産業が盛んな関市特有の問題で、水濁法ができた当時に、メッキ工場が土に埋めて処理したことが原因となっているようです。この対策としては、土の中ですので、近隣の井戸水使用者に井戸の水を飲まないよう対処し、地点を決めて測定を続けているということです。

#### 【田中会長】

地下のことで対応が大変になるかと思っています。六価から三価にかわると毒性が低下するようですが、還元物質を地下に対処することは難しいので、監視下に置いておくことも大事なことだと思います。

#### 【田中会長】

ほかに質疑ご意見はございませんので報告を終了します。

次に4のその他としてなにかご意見ご提案はありませんか。

#### 【加納委員】

静岡県の三島市はで粗大ごみを回収してメルカリなどで販売しているようです。リユースの活動を進めているようですが、関市ではどうでしょうか。

#### 【事務局】

所有権の関係で難しいですが、ジモティと協定をしてリユースを進めております。

**【坂井委員】**

再生可能エネルギーの中で、企業の皆さんが太陽光発電設備を導入し、一部の自治体では企業への補助などを行っているようです。発電量や規模も大きく効果的ですが、関市では企業への誘導施策を行っている、行う予定はあるでしょうか。

**【事務局】**

県が行っていますので市はありませんが、今後、商工課と検討を進めます。

**【酒井委員】**

県では木質バイオマスの取組が増えていきますので今以上の取組を進めたいですし、黒屋地区の田んぼダムは実証実験でデータを集めながら来年も進めてまいります。

鳥獣害の関係について、シカの生息数は板取川沿い、津保川沿いの上流で定着しているようです。柵を設置したり、捕獲したりと被害の無いような取り組みを進めたいと思っています。サル被害についても追い払いも含めて対策を進めてまいります。

**【多田委員】**

45ページの騒音の特定施設数につきまして、届け出のない企業が多いのではないかと思いますでしょうか。

**【事務局】**

騒音規制法、振動規制法、県の条例が関係します。届け出がないと罰則規定がありますが、すべての機械が対象となるわけではなく、機械の能力によって届け出が必要になりますのでご注意ください。

**【田中会長】**

騒音振動は市へ提出し、水質・大気は県への提出となります。

**【宮部委員】**

公用車のEV化については、入札不調があったようでした。国の施策にもありますのでそのようなことのないようにしてほしいです

能登の地震も含めて、古い家屋ほど倒壊しているようす。耐震補強の補助の充実や周知などについて、なにかしら都市計画課を含めて相談して進めてほしいと思います。

また、公共施設の太陽光発電設置も進めていただく際に、災害を含めて優先順位をどこに置くのか、子どもたちへのことも考えて、横の連携を密に設置を進めてほしいと思います。

**【事務局】**



横の連携を取って進めてまいります。

太陽光発電についても設置場所や管理を含めて検討してまいります。

**【田中会長】**

ありがとうございました。その他について他に何かありますでしょうか。

特になければ、本日の議事はすべて終了しましたので、本会議の進行を事務局にお返しします。

**【後藤課長】**

田中会長をはじめ委員の皆様、本日は、貴重なご意見をありがとうございました。

これにて、令和5年度第1回関市環境審議会を閉会いたします。

本日はありがとうございました。